

都市住宅学会関西支部 学生研究発表交流会 2024

発表交流会：2024年10月12日（土）14:05～17:00
(会場：大阪梅田ツインタワーズ・サウス UR 都市機構西日本支社 オフィス内
集合：13:45 大阪梅田ツインタワーズ・サウス 21階 UR 都市機構 西日本支社
オフィスエントランス)

■はじめに

都市住宅学会関西支部では、学生が最終的に論文をまとめる前に、さまざまな人との議論を通して自身の研究を深め、なおかつ相互の交流を進める場として「学生研究発表交流会」を例年開催しています。

今年度の発表会でも特にテーマを設定せず、会員に限定することなく学生の発表を広く募集します。現在取り組んでいる研究やこれから取り組む研究でも構いません。他大学の学生・教員、行政、企業の方などからアドバイスをいただき、交流する場です。学生の皆さんには積極的に応募してください。またゼミなどでご指導の先生方にはぜひとも学生に応募をお勧めいただき、またご関心のある研究室にも応募をお勧めいただきますようお願い申し上げます。

■都市住宅学会について

都市、地域、住宅の問題は、建築学、住居学、都市計画・社会工学、法学、経済学、社会福祉学、社会学、心理学、政治学など幅広い学術領域にまたがり、産官学などさまざまな立場の専門職が関わっています。当学会は、学問領域や立場を超えて、都市、地域、住宅に関する問題を広く議論・共有する目的で設立された学会です。

■学生研究発表交流会

□発表の手順について (学生の発表申し込みは、締め切りました)

(1) 発表を希望する学生は、A4用紙に概要を300字以上にまとめたもの（書式・段組み等について指定はありませんが、研究タイトル・背景・目的・方法・分析・考察に準ずる構成とすること、図表は適宜付加してよい、引用・参考文献リストを末尾につけること）をword形式もしくはPDF形式にてまとめ、E-mailに上記ファイルをメール添付して提出してください。この概要をとりまとめて発表会時の要旨集を作成します。応募の際のメールの件名は「学生研究小論発表・討論会2024応募」とし、メール本文には、名前（代表者ならびにグループ全員）、所属（大学・学部・学科）、学年、メールアドレス、電話番号、研究タイトルを明記してください。

応募締め切り：2024年9月30日（月）17:00 必着（E-mailにて）

提出先：都市住宅学会関西支部事務局

（E-mail: gakkai-west@urban-ii.or.jp）

(2) 応募締め切り後、応募内容を参考にプログラムを決め応募者全員に通知します。開場では、ポスターを掲示してポスターセッションを行います。A1サイズのポスターを用意ください（パワーポイントをA4サイズで印刷し、複数枚掲示する形式でも構いません）。

(3) 研究発表交流会では、ポスターセッションではまず各自数分の発表を予定しています（ポスターセッションとは別会場で、スライド投影の予定）。発表資料をご用意ください。全員の発表終了後、直ちにポスター発表会場にて、自由討論とします。

□発表交流会当日のスケジュール（予定）

13:45 大阪梅田ツインタワーズ・サウス 21階 UR 都市機構
オフィスエントランスに集合

13:45-14:05 ポスター掲示

14:05-14:35 特別講演『建築情報学を活用した授業と研究
について』 山田 悟史 氏（立命館大学）

14:40-17:00 ポスターセッション（含むスライド発表）

□応募資格 (学生の発表申し込みは、締め切りました)

近畿地方（2府4県）の大学・大学院に在籍する学部生・大学院生（修士課程・博士課程）の個人もしくはグループ（非会員でも可）

□懇親会

発表終了後に会場下階のレストランスペースで軽食・飲み物を用意して、懇親会を行う予定です。学生のみなさんは参加費500円でご参加いただけますので、ぜひご参加ください。当日の受付時に参加の有無をお聞きします。

■会場・アクセス

特別講演：UR 都市機構西日本支社 オフィス内 LINK

ポスター発表：UR 都市機構西日本支社 オフィスエントランス

集合：UR 都市機構西日本支社 オフィスエントランス

<https://www.ur-net.go.jp/west/aboutus/index.html>

アクセス

最寄り駅：JR大阪駅、JR北新地駅、阪急「大阪梅田」駅、阪神「大阪梅田」駅、大阪メトロ 御堂筋線「梅田」駅・四つ橋線「西梅田」駅・谷町線「東梅田」駅

※阪急、大阪メトロ御堂筋線・谷町線側（東側）にもEVはありますが、西側（シャトルEV）の方を推奨。JR大阪駅からの場合、中央改札から南下、地下1階へ。大丸百貨店の入口を過ぎ、阪神百貨店の入口を過ぎて、左手に「大阪梅田ツインタワーズ・サウス」の入口あり。シャトルEVにて11階オフィスロビーへ。11階で乗り換えて21階へ。

※「梅田ツインタワーズサウス アクセス」などでも検索ください。

住所：〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田一丁目13番1号

大阪梅田ツインタワーズ・サウス 21階

（連絡が必要な場合、080-4367-5248（関口携帯）までご連絡ください。）

■問い合わせ先

都市住宅学会関西支部事務局

E-mail: gakkai-west@urban-ii.or.jp

TEL 06-6359-1322 FAX 06-6359-1329

〒530-0011 大阪市北区大深町3番1号 グランフロント大阪
ナレッジキャピタルタワーC7

発表交流会の概要

■特別講演

講演タイトル：『建築情報学を活用した授業と研究について』

講演者：山田 悟史 氏（立命館大学）



講演概要：

「建築情報学」という分野が提唱され、いくつかの大学では積極的なカリキュラムへの導入や研究室活動が展開されています。民間企業も多く参画する「建築情報学会」という学会も設立されました。建築情報学の推進には、未踏のワクワクの開拓性だけでなく、すべての人に共通する強い必要性があります。特に切実なのは、交流発表会に参加する学生の皆さん自身、つまり若い世代です。皆さんのが社会で活躍する頃「三つの選択肢」に迫られます。この選択を例とする建築情報学を学ぶべき不可避な必要性と、その先に広がるワクワクを、建築情報学系の授業や研究室活動、建築情報学会の紹介を通じてぎゅっと詰め込んでお伝えします。

講演者プロフィール：

立命館大学 理工学部 建築都市デザイン学科 准教授 / 2009年3月 日本大学 博士後期課程修了 博士(工学) / 立命館大学 理工学部 助教, 中央大学 理工学部 助教, 早稲田大 人間科学部 助教, 立命館大学 任期制講師を得て, 2022年4月から現職 / 研究目標に「建築家をコロス, できれば建築もコロス」を掲げ「建築情報学」研究室を主催して研究と教育に従事。建築情報学会 発起人幹事, 代議員。プライベートでは、ラーメンとボクシングを趣味にしている。

■学生交流発表会

◎タイムスケジュール

13:45	大阪梅田ツインタワーズ・サウス21階UR都市機構オフィスエントランスに集合、受付を済ませる
13:45～14:05	UR都市機構西日本支社オフィス内LINKルームに移動。発表学生はこの時間にエントランスにポスターを掲示
14:05～14:35	特別講演『建築情報学を活用した授業と研究について』：山田悟史氏（立命館大学）
14:35～14:40	(休憩5分)
14:40～15:05	研究概要の紹介・前半（奇数番の学生3分ずつ×8人 LINKルームにて）
15:05～15:45	ポスターセッション・前半（奇数番の学生がポスター前で質疑対応・オフィスエントランスにて）
15:45～15:50	(休憩5分)
15:50～16:15	研究概要の紹介・後半（偶数番の学生3分ずつ×8人 LINKルームにて）
16:15～16:55	ポスターセッション・後半（偶数番の学生がポスター前で質疑対応・オフィスエントランスにて）
16:55～17:00	まとめ・ふりかえり
	17:20～懇親会（任意参加）

◎発表者・発表題目

ポスター 一番号.	名 前	所 属	タ イ プ
前半セッション 研究概要の紹介 14:40～15:05 ポスターセッション 15:05～15:45			
1	藤近愛	兵庫県立大学 環境人間学部 環境人間学科	姫路市中部第一地区における街区公園の空間特性に関する研究
3	森田 真央	兵庫県立大学 環境人間学部 環境人間学科	複数のサークル活動に関わる高齢者の活動参加プロセスに関する研究 —豊岡市国府地区コミュニティセンターのサークル活動参加者を対象として—
5	森 夏規	兵庫県立大学 環境人間学部 環境人間学科	移住における自己効力感に資する場や機会に関する研究 —西播磨暮らしサポートセンターにおけるオーダーメイド型チケットを利用した移住者を対象として—
7	岡村 光代	京都大学大学院 工学研究科 建築学専攻	都市施設の「臥位休息スペース」の活用可能性
9	和田 大輝	京都大学大学院 工学研究科 建築学専攻	VR 視線追跡を用いた設計者と介護職員による空間の捉え方の違い
11	柏倉 杏菜	関西大学大学院 理工学研究科 環境都市工学専攻	奄美大島大和村における道路整備による集落環境の変化に関する研究
13	下地 杏花	京都大学大学院 工学研究科 建築学専攻	子どもの屋内遊び場の変遷に関する研究
15	清川 忠和	大阪大学大学院 工学研究科 地球総合工学専攻	大阪府泉州地域における広域都市空間構造再編へ向けた試論 —都市形成・空間構造・行政組織分析による包括的アプローチ—
後半セッション 研究概要の紹介 15:50～16:15 ポスターセッション 16:15～16:55			
2	平井 咲帆	京都美術工芸大学 芸術学部 建築学科	江戸中期の京都型町家に関する研究 —一本町通の今村家住宅を対象として—
4	奥川 真衣	京都美術工芸大学 芸術学部 建築学科	高低差を有する路地における利用実態の特徴に関する研究
6	李 想	京都大学大学院 工学研究科 建築学専攻	市民農園活動への参加意欲に影響を与える要因を探るに関する研究
8	鎌田 安希子	京都大学大学院 工学研究科 建築学専攻	京都府における農作物の流通に関する調査
10	笹谷 匠生	京都大学大学院 工学研究科 建築学専攻	多世代が共生する GH における交流実態
12	山本 淳也	関西大学大学院 理工学研究科 環境都市工学専攻	大阪府市街化調整区域における開発手法の市町村による相違に関する研究 —地区計画と開発許可条例に着目して—
14	森本 郁輝	関西大学大学院 理工学研究科 環境都市工学専攻	廃校後の学校の保存とメモリアル化の意義・記念碑やメモリアル的な要素の存在価値について —大阪市の廃校小学校を対象に—
16	中村大智	大阪大学大学院 工学研究科 地球総合工学専攻	大阪市域における「農的土地区画整理事業」の成立背景及び存続要因に関する研究